INFORMATION

●開館時間　9：00～17：00（入館は16：30まで）

●休館日　原則として，月曜日，祝日，年末年始（12月28日～1月4日）

◆プラネタリウム休演日　2月8日㈫，9日㈬，3月1日㈫～3日㈭

◆全天周映画休演日　2月8日㈫，9日㈬

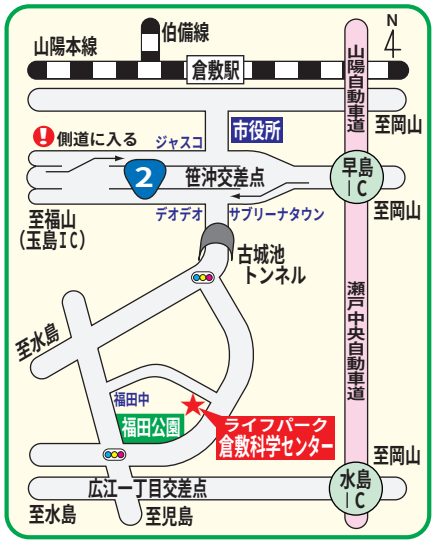
●入場料

区分／金額		個人	団体（20人以上）
展示室	おとな	400円	320円
	こども（小・中学生，高校生）	100円	80円
プラネタリウム	おとな	400円	320円
	こども（小・中学生，高校生）	200円	160円
全天周映画	おとな	400円	320円
	こども（小・中学生，高校生）	200円	160円
プラネタリウム＋全天周映画	おとな	600円	480円
	こども（小・中学生，高校生）	300円	240円

●宇宙劇場投映開始時刻

曜日／時刻	10：00	11：10	12：20	13：30	14：40	15：50
火～金	学習投映（団体予約優先）	学習投映（団体予約優先）		学習投映（団体予約優先）	全天周映画	プラネタリウム
土・日 春・夏・冬休み	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム

◆定員210名，各回入れ替え制。投映中の入退場はご遠慮ください。
◆学習投映は団体予約優先の投映です。団体でご利用の場合は，あらかじめお電話でご予約ください。
◆学習投映の番組は幼児用，小学生用（低学年，４年生，高学年），中学生用を用意しています。
◆小・中学校及び幼稚園等の春・夏・冬休み期間中は，火～金曜日も，土・日曜日と同じ投映スケジュールとなります。



ACCESS

◆ＪＲ倉敷駅からタクシー　20分
◆ＪＲ倉敷駅からバス　25分
　○下電バス
　・『ライフパーク倉敷行』　終点下車
　・『市役所・古城池経由ＪＲ児島駅行』
　　ライフパーク倉敷入口下車
　・『市役所・古城池経由広江団地行』
　　ライフパーク倉敷下車
　・『大高経由ＪＲ児島駅行』
　　福田中学校前下車（※徒歩15分）
◆国道２号線　笹沖交差点から車で15分
　（古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折）
◆瀬戸中央自動車道　水島ＩＣから車で10分
　（広江一丁目交差点を右折後，最初の信号を右折）

倉敷科学センター
〒712-8046　倉敷市福田町古新田940　ライフパーク倉敷
TEL (086)454-0300 ／ FAX (086)454-0305
http://www.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/

宇宙劇場 ★ プラネタリウム

PLANETARIUM

投映の話題（今夜の星空解説含む）

アイザック・ニュートン

～地上と宇宙をつないだ人～

（ちじょう うちゅう ひと）

Vol. 36　2004. 11. 5～2005. 2. 27

KURASHIKI SCIENCE CENTER
倉敷科学センター

■ プラネタリウム

アイザック・ニュートン
～地上と宇宙をつないだ人～

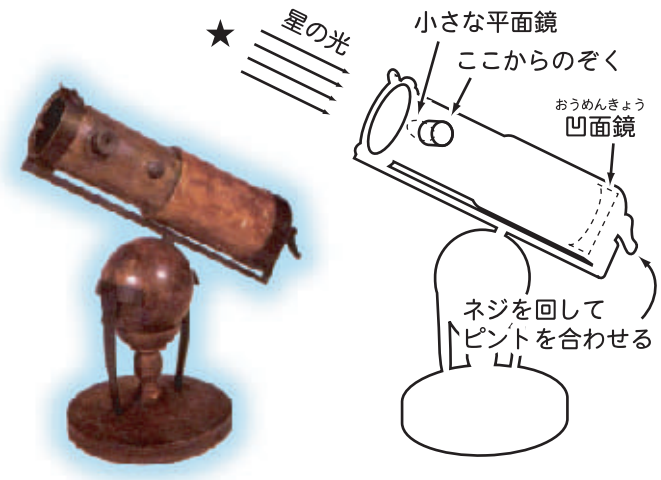
上映期間 / 11月5日（金）～ 2月27日（日）

地上に生きる私たちにとって，宇宙は地上の理屈では理解の及ばない，人知を越えた特別な世界に思えます。

しかし，18世紀のイギリスの科学者，アイザック・ニュートンは違いました。物理学や数学の知識を駆使して，リンゴが木から落ちることと，月が地球を回り続けることは，共に「万有引力の法則」で説明できることを示したのです。地上と宇宙を含む，私たちの世界を貫く原理を発見した功績は科学の革命とも称えられました。

この番組では，まだロケットもなかった時代に，自ら生み出した科学の力で宇宙に手を伸ばそうとした，科学者ニュートンについてご紹介していきます。

60歳ごろのニュートン
（『光学』を出版したころ）



▲ニュートンの反射望遠鏡（ロンドン王立協会所蔵）
レンズのかわりに鏡を使うニュートンの新型望遠鏡は，光と色の新理論とともに驚きをもって迎えられました。

アイザック・ニュートンに関する年表

1642年　12月25日，リンカンシャー州ウールスソープに生まれる
1665年　ケンブリッジ大学を卒業
1665年　微分積分法を開発
1666年　さかんにプリズムを用いた実験を行い，光と色の新理論を導く
1668年　反射望遠鏡を開発
1669年　ケンブリッジ大学ルーカス講座教授になり，光学の講義を始める
1671年　ロンドン王立協会で反射望遠鏡を発表
1684年　ハレーの訪問を受ける（『プリンキピア』出版のきっかけとなる）
1687年　力学に関する著書『プリンキピア(自然哲学の数学的原理)』を出版
1704年　『光学』を出版
1705年　ハレー，1682年の彗星が76年後(1758年)に再来することを予測
1727年　3月20日，ロンドンで死去（84歳）

ニュートンのリンゴの木

ニュートンの生家に生えていたリンゴの木は，ニュートンが万有引力の法則を発見するきっかけとなったと伝えられています。このリンゴは「フラワー・オブ・ケント」という品種で，実が完熟する前に落下する性質があります。

そのリンゴの木の子孫は今では世界各地に植えられています。写真の木は1964年に日本に初めて持ち込まれたもので，東京の小石川植物園にあります。身近なところにも植えられていたりするので，みなさんもさがしてみてはいかがでしょうか。

次回のプラネタリウム新番組は，3月4日(金)よりスタートです。